

令和4年11月1日

ご利用者様各位

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団
京都市右京ふれあい文化会館

令和4年11月1日更新
新型コロナウイルス感染拡大予防に係る安全対策ガイドライン

ホールのご利用にあたって

ホールをご利用になられる主催者様におかれましては、以下の内容にご留意いただき、新型コロナウイルス感染拡大防止対策へのご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、この取扱いは今後の感染の動向のほか、政府等の対処方針の変更により適宜改正を行います。利用日時点の取扱いが適用されますので、あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

記

◎ 基本的な感染拡大防止対策として、関係者、来場者等に周知し、対策の徹底をお願いいたします。

① 施設内でのマスクの着用

◆ マスク使用時には鼻にフィットさせたしっかりとした着用を徹底し、できるだけフィルター性能の高い不織布マスクを使用してください。

② 手指の消毒や手洗いの励行

③ 大声を出さないこと、せきエチケットの励行

④ 相互の社会的距離の確保

⑤ 常時換気の徹底（来場者を除く。）

⑥ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限（水分補給を除く。）

⑦ 平熱と比べて高い発熱がある方や次の症状等に該当する方は、来館しないでください。

◆ 咳、喉の痛み、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害などの症状

◆ 陽性とされた者との濃厚接触がある場合

1 客席

① 来場者による大声での歓声、声援、唱和等がない催物については、必要となる感

染防止対策を総合的に 講じたうえで、収容定員までの配席数（最前列席については下記 2-③参照）でご利用いただけます。

- ② 大声での歓声、声援、唱和等が想定される催物については、正しいマスク着用と発声抑制の周知及び主催者による個別注意など、必要となる感染防止策を講じたうえで、収容定員の 50%以内でのご利用となります。
- ③ 高齢者が多数来場すると見込まれる催物については、感染リスクや重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。

2 舞台上（練習利用含む。）

- ① その表現形態に応じて、演者間で一定の距離を取るなど、可能な限り感染防止に努めてください。
- ② 客席の最前列席は、演者から一定の距離を取ってください。（水平距離で概ね 2m 程度を確保するよう努めてください。）
- ③ 緞帳前、花道を使用しての演出については、演者から客席の最前列まで一定の距離を取ってください。（水平距離で概ね 2m 程度を確保するよう努めてください。）
- ④ 感染リスクが高まるような演出（声援を求めるなど）は控えてください。
- ⑤ 仕込み・リハーサル・撤去において余裕あるスケジュールを設定し、密な空間の防止に努めてください。
- ⑥ 舞台袖、舞台裏、楽屋等の狭いスペースでの待機時など、マスクを外しての会話は控えてください。
- ⑦ 表現上困難な場合を除き、施設内ではマスクの着用をお願いいたします。
- ⑧ その他、稽古や仕込み・撤去等において、十分な感染防止策をお願いいたします。
- ⑨ 当日、入館直前に関係者等の検温（検温器は、主催者側でご用意ください。）を行い、平熱と比べて高い発熱がある方には自宅待機等の対応をお願いいたします。

3 楽屋・控室

- ① 十分な感染防止策を講じることができる場合は、通常の利用定員以内でご利用いただけます。
- ② 十分な感染防止策を講じることができない場合は、通常の利用定員の 50%以内でのご利用となります。
- ③ 密にならないように定員を調整するとともに、自然換気等を行ってください。
- ④ 大声での発声、歌唱、管楽器等による音出しは行わないでください。
- ⑤ 催物等の前後に適宜手指消毒を徹底してください。
- ⑥ 施設内ではマスクの着用をお願いいたします。（喫煙スペースや洗面スペースや飲食周りなど、マスクを外しての会話は控えてください。）
- ⑦ 近接した距離での長時間の会話は避けてください。
- ⑧ 利用の際に出たごみは、お持ち帰りください。

4 来場者等

- ① 入場口付近で来場者の検温を行い、平熱と比べて高い発熱がある方にはご入場をお断りください。
- ② 客席内ではマスク着用を基本とし、未着用の来場者に対しては配布（主催者側でご用意ください。）や 販売、個別に注意等を行うことにより着用を徹底してください。
なお、病気や障害により、マスクの着用等が困難な来場者への対応については、国や自治体等の対応指 針等に沿って適切に対応してください。
- ③ 来場者の案内や誘導に際しては、密が発生しない程度の間隔を取ってください。
- ④ 休憩時間や入退場時間は、会場の収容人数や入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設定してください。
- ⑤ 休憩時間や入退場時には会話抑制を周知するとともに、ロビー等での近距離における対面での長時間の会話や滞留を抑制するように来場者にご周知ください。
- ⑥ 入退場時の密集回避のため、時間差の入退場や導線の確保、人員の配置等を行うことにより、密が発生しない程度の間隔を保持してください。
- ⑦ 大声を出す方がいた場合（収容定員までの配席数に限る。）は、個別に注意等を行ってください。
- ⑧ 入場時のチケットもぎり等を担当する方は、適宜手指消毒を徹底してください。
- ⑨ チラシ、パンフレット、アンケート等は据置きとし、来場者が自ら取得するか、手渡しの場合には担当 する方は、適宜手指消毒を徹底してください。
- ⑩ 催物後の面会など、演者、催物関係者と来場者の接触は控えてください。
- ⑪ 来場者、演者、催物関係者など、それぞれの立入り可能エリアを限定（来場者が楽屋エリア等に立ち入ることなどを制限）してください。
- ⑫ 来場者と接する窓口（招待受付、当日券窓口）等では、アクリル板等（主催者側でご用意ください。）の 間仕切りを設置してください。また、係員は、マスクを着用してください。

その他、ご不明な点がございましたら、会館職員にお問い合わせください。